



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 寛
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400
四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,045	30.3	1,075	70.3	1,086	68.5	930	137.0
2023年3月期第1四半期	3,871	13.3	631	66.5	644	76.7	392	156.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 774百万円 (86.4%) 2023年3月期第1四半期 415百万円 (171.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.22	—
2023年3月期第1四半期	9.23	—

(注) 2023年3月期及び2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	14,964	11,241	75.1	268.02
2023年3月期	14,461	10,878	75.2	261.53

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,241百万円 2023年3月期 10,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	10.8	3,850	19.0	3,850	17.9	2,900	31.6	69.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	46,308,600株	2023年3月期	46,308,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,365,594株	2023年3月期	4,713,594株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	41,857,652株	2023年3月期1Q	42,516,619株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分な注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは、コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーションとして、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する「デジタル・トランスフォーメーション」、新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する「サービス・トランスフォーメーション」、経営プラットフォームを革新する「マネジメント・トランスフォーメーション」を掲げ、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創に取り組んでいます。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、リジェネラティブ&ウェルビーイング領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携により投資先企業の成長および企業価値向上を支援しています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,045,098千円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

売上原価は、2,545,734千円（前年同四半期比29.0%増）となりました。旺盛な需要に対応し、外注費が増加いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては対面活動の活発化に伴う諸経費と採用費の増加により、1,423,605千円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

売上高の増加により、売上総利益は601,950千円増の2,499,364千円（前年同四半期比31.7%増）、営業利益は444,095千円増の1,075,758千円（前年同四半期比70.3%増）、経常利益は441,443千円増の1,086,020千円（前年同四半期比68.5%増）となりました。

税金等調整前四半期純利益は1,085,883千円（前年同四半期比68.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、930,015千円（前年同四半期比137.0%増）となりました。なお、親会社株主に係る四半期包括利益は774,698千円（前年同四半期比86.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,845,657千円（前年同四半期比24.6%増）、セグメント利益1,408,434千円（前年同四半期比21.6%増）となりました。産業別では運輸、通信、金融、小売、商社、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引しました。

人財採用につきましては、当第1四半期連結累計期間において経験者26名、新卒61名が入社しました。新卒社員の研修は順調に進んでおり、10月から稼働を開始する予定です。2023年6月末時点のコンサルタント数は563名となっております。プロジェクト満足度は95ポイントと高い水準を維持しております。

(投資事業)

投資事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高232,550千円（前年同四半期比1,767.6%増）、セグメント利益134,839千円（前年同四半期はセグメント損失65,508千円）となりました。

4月に株式会社プログリットの株式を全て売却しました。また、その他の投資先の株式を一部売却し、6月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約18億円となりました。

なお、7月にはリーガルテックサービスを提供するGVA TECH株式会社、太陽光発電事業、GXソリューション事業等を行う株式会社アイ・グリッド・ソリューションズに総額約9億円の新規投資を実施するなど、引き続き積極的な投資活動を推進しております。

なお、株式会社シグマックス・ホールディングスならびに株式会社シグマックスは、2023年6月27日開催の各社取締役会にて新執行体制を決定しました。

当連結会計年度、当グループは下記の執行体制にて事業を推進してまいります。

株式会社シグマックス・ホールディングス

富村 隆一	取締役会長兼取締役会議長
太田 寛	代表取締役社長
柴沼 俊一	代表取締役副社長
田端 信也	代表取締役CFO
内山 その	取締役

株式会社シグマックス（コンサルティング事業）

太田 寛	代表取締役社長
田中 雄太郎	取締役
田端 信也	取締役
早坂 保彦	取締役

株式会社シグマックス・インベストメント（投資事業）

工藤 英之	代表取締役会長
柴沼 俊一	代表取締役社長
柴田 憲一	代表取締役

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,964,786千円（前連結会計年度末比503,153千円増）となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比971,566千円増）、営業投資有価証券の減少（前連結会計年度末比306,839千円減）によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,723,274千円（前連結会計年度末比139,929千円増）となりました。これは主に、買掛金の増加（前連結会計年度末比123,535千円増）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は11,241,512千円（前連結会計年度末比363,223千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払711,241千円（前連結会計年度同四半期591,152千円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、2023年6月27日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,093,890	8,065,457
受取手形、売掛金及び契約資産	2,263,554	2,140,403
営業投資有価証券	2,171,591	1,864,751
その他	600,834	395,769
貸倒引当金	△116,122	-
流動資産合計	12,013,748	12,466,381
固定資産		
有形固定資産	253,366	238,095
無形固定資産		
ソフトウェア	400,943	371,719
ソフトウェア仮勘定	34,635	36,011
その他	7,105	6,821
無形固定資産合計	442,685	414,551
投資その他の資産		
投資有価証券	797,759	805,302
繰延税金資産	316,670	363,978
その他	637,403	676,476
投資その他の資産合計	1,751,832	1,845,757
固定資産合計	2,447,884	2,498,405
資産合計	14,461,633	14,964,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,169	360,705
未払金	842,657	791,786
未払法人税等	339,489	201,503
賞与引当金	-	32,966
株式給付引当金	326,059	347,288
その他	232,954	1,099,928
流動負債合計	1,978,330	2,834,177
固定負債		
リース債務	5,681	4,485
株式給付引当金	340,542	128,548
役員株式給付引当金	1,106,107	595,224
資産除去債務	86,444	86,444
その他	66,238	74,394
固定負債合計	1,605,014	889,096
負債合計	3,583,345	3,723,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	4,768,396	4,755,245
利益剰余金	6,762,154	6,980,928
自己株式	△3,972,854	△3,659,936
株主資本合計	10,557,696	11,076,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,592	165,275
その他の包括利益累計額合計	320,592	165,275
純資産合計	10,878,288	11,241,512
負債純資産合計	14,461,633	14,964,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,871,010	5,045,098
売上原価	1,973,597	2,545,734
売上総利益	1,897,413	2,499,364
販売費及び一般管理費	1,265,750	1,423,605
営業利益	631,663	1,075,758
営業外収益		
受取利息	1,264	1,046
為替差益	7,723	4,459
講演料等収入	2,627	3,646
その他	3,135	3,779
営業外収益合計	14,749	12,932
営業外費用		
支払利息	47	34
控除対象外消費税等	1,104	2,470
その他	684	165
営業外費用合計	1,835	2,670
経常利益	644,577	1,086,020
特別損失		
固定資産売却損	-	81
固定資産除却損	-	56
特別損失合計	-	137
税金等調整前四半期純利益	644,577	1,085,883
法人税、住民税及び事業税	139,281	163,398
法人税等調整額	112,912	△7,530
法人税等合計	252,194	155,867
四半期純利益	392,383	930,015
親会社株主に帰属する四半期純利益	392,383	930,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	392,383	930,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,201	△155,317
その他の包括利益合計	23,201	△155,317
四半期包括利益	415,584	774,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415,584	774,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月9日 取締役会決議	普通株式	591,152	26	2022年3月31日	2022年6月6日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金39,807千円が含まれています。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月9日 取締役会決議	普通株式	711,241	16	2023年3月31日	2023年6月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金45,721千円が含まれています。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号2022年8月26日。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,864,364	6,646	3,871,010	—	3,871,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,763	5,805	29,568	△29,568	—
計	3,888,127	12,451	3,900,578	△29,568	3,871,010
セグメント利益又は損 失(△)	1,158,253	△65,508	1,092,745	△461,082	631,663

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等461,082千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,825,597	219,500	5,045,098	—	5,045,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,060	13,050	33,110	△33,110	—
計	4,845,657	232,550	5,078,208	△33,110	5,045,098
セグメント利益	1,408,434	134,839	1,543,274	△467,516	1,075,758

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用等467,516千円によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。